


安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	G101c
製品コード	EKB8G
推奨用途	製版フィルム用現像液濃縮液
使用上の制限	産業用および専門家用の用途に制限される
製造者	
会社名	ECO3 BV
住所	Septestraat 27, 2640 Mortsel, Belgium
供給者	
会社名	エコスリージャパン株式会社
住所	105-0004 東京都港区新橋4-21-3 新橋東急ビル10階
電話番号	03-5422-1817
ファックス番号	03-5422-1818
緊急連絡先	03-5422-1817（平日9:00-17:00）

2. 危険有害性の要約

GHS分類	
物理的危険性	分類基準に該当しない
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 皮膚感作性 区分1 生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分2
環境有害性	分類基準に該当しない
ラベル要素	
絵表示	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	重篤な眼の損傷 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 遺伝性疾患のおそれの疑い 発がんのおそれの疑い
注意書き	
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置	皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管
廃棄

施錠して保管すること。
内容物および包装の廃棄については、認定施設において地域、地方、国、および国際基準に従って行うこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学物質の名称	CAS番号	化審法番号	重量%
水	7732-18-5	対象外	70 - 80
亜硫酸カリウム	10117-38-1	1-453	5 - 10
炭酸二カリウム	584-08-7	1-153	5 - 10
ヒドロキノン	123-31-9	3-543	4.8
亜硫酸ナトリウム	7757-83-7	1-502	1 - 5
臭化ナトリウム	7647-15-6	1-113	1 - 5
ジエチレングリコール	111-46-6	2-415	1未満

正確な濃度は企業秘密として秘匿されている。

4. 応急措置

一般的なアドバイス	症状が出た場合は、医師の診断/手当てを受けること。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと。 呼吸に関する症状が出た場合：医師の診断/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに多量の水で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡すること。 水で口をすすぐこと。その後に水を多めに飲むこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	健康有害性に関する情報は第11項を参照。
応急措置をする者の保護	救助者は適切な保護具を着用する。保護具については第8項を参照。
医師に対する特別な注意事項	症状にあった治療を施すこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	泡、二酸化炭素、粉末消火剤または水噴霧で消火する。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	消火活動は、可能な限り風上から行う。 危険でなければ火災区域から容器を遠ざけること。
消火活動を行う者の保護	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	個人用保護具を着用する。危険区域に入る前に保護具を着用する。
環境に対する注意事項	水源や下水を汚染しないようにする。排水溝/水系環境に漏出した場合は地域の行政当局に連絡すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	安全を確認してから、もれやこぼれを止める。危険を伴わずにできる場合には、物質の流れを止める。廃棄用の容器に移す。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	近くに水道および洗眼設備を設置する。 適切な換気を行う。
安全取扱注意事項	眼、皮膚、衣服に付けないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。
適切な衛生対策	取扱い後は手をよく洗うこと。

保管

適切な保管条件	施錠して保管すること。元の容器に密閉し、乾燥し、涼しくて換気のよい場所に保管する。
安全な容器包装材料	元の容器、又は十分な強度を持つプラスチック容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学物質の名称	ばく露限界値	情報源
ヒドロキノン	TWA: 1mg/m ³	米国ACGIH

生物学的許容値

設備対策	成分の生物学的ばく露限界値は指摘されていない。 空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。 近くに水道および洗眼設備を設置する。
------	--

保護具

呼吸用保護具	換気が不十分な場合は呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	耐化学品手袋を着用する。ブチルゴム、またはニトリルゴム製の手袋が望ましい。天然ゴム製の手袋は避ける。液体は手袋を通して浸透することがあるので注意する。頻繁に交換することが望ましい。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。 飛散の危険がある場合は、顔面保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。 一切の接触を防止するにはネオプレン製の手袋、エプロン、ブーツ、または全体スーツ等の不浸透性の防具を適宜着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理状態	液体
色	淡い黄色
臭い	ほぼ無臭
臭いの閾値	データなし
融点/凝固点	< 0℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	> 100℃
可燃性	可燃性ではない
燃焼又は爆発限界の上限/下限	
爆発限界－上限	データなし
爆発限界－下限	データなし
引火点	該当しない（水溶液）
自然発火温度	該当しない（水溶液）
分解温度	データなし
pH	10.8 (25℃)
粘度（粘性率）	
動粘度	データなし
動粘性率	2.52 mm ² /s (20℃)
浮遊時間	データなし

溶解度

溶解度（水）	可溶性
溶解度（その他）	データなし
n-オクタノール／水分配係数	該当しない（混合物）
蒸気圧	23.00 hPa（20℃）
比重	1.241（20℃）
密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常状態で安定。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	酸と反応して発熱する。
避けるべき条件	凍結、熱及び直射日光を避ける。
混触危険物質	強酸、強酸化剤
危険有害な分解生成物	加熱および火災により有害な蒸気/ガスが生成されることがある。

11. 有害性情報

急性毒性・経口	製品として：区分に該当しない 炭酸二カリウム：区分4（NITE） ヒドロキノン：区分4（NITE）
急性毒性・経皮	製品として：データ不足のため分類できない。
急性毒性・吸入（ミスト）	製品として：データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	製品として：区分に該当しない 炭酸二カリウム：区分2（NITE）
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	製品として：区分1 炭酸二カリウム：区分2A（NITE） ヒドロキノン：区分1（NITE）
呼吸器感作性	製品として：データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	製品として：区分1 ヒドロキノン：区分1（NITE）
生殖細胞変異原性	製品として：区分2 ヒドロキノン：区分1B（NITE）
発がん性	製品として：区分2 ヒドロキノン：区分2（NITE）
生殖毒性	製品として：データ不足のため分類できない。 ジエチレングリコール：区分2（NITE）
特定標的臓器毒性、単回ばく露	製品として：区分に該当しない ヒドロキノン：区分1（中枢神経系）（NITE） ジエチレングリコール：区分1（腎臓、肝臓）（NITE）
特定標的臓器毒性、反復ばく露	製品として：区分に該当しない ヒドロキノン：区分2（腎臓、肝臓）（NITE）
誤えん有害性	製品として：データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期（急性）	製品として：区分に該当しない ヒドロキノン：区分1（NITE）
水生環境有害性 長期（慢性）	製品として：区分に該当しない ヒドロキノン：区分1（NITE）
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

1 3. 廃棄上の注意

一般情報	本製品は廃棄物処理法が定める産業廃棄物（廃アルカリ）に該当する。 アルカリ性であるため、酸で中和して処理する。
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う。 自社で排水処理を行わない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を添えて、処理を委託する。
汚染容器及び包装	空容器は内容物を完全に除去した後、産業廃棄物として処分する。関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

1 4. 輸送上の注意

国際規則	
IMDG	
国連番号	該当しない。
UN 正式輸送品目名	該当しない。
輸送危険有害性クラス	該当しない。
EmS	該当しない。
容器等級	該当しない。
少量危険物	該当しない。
微量危険物	該当しない。
環境有害性	該当しない。
IATA	
国連番号	該当しない。
UN 正式輸送品目名	該当しない。
輸送危険有害性クラス	該当しない。
EmS	該当しない。
容器等級	該当しない。
少量危険物	該当しない。
微量危険物	該当しない。
環境有害性	該当しない。
その他の情報	
旅客および貨物輸送機	該当しない。
貨物専用航空機に限る	該当しない。
国内規則	国内法に従う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質：ヒドロキノン 管理番号：336、政令番号：1-381（令和5年から） 製品容量10L中に595.7gを含有する。
労働安全衛生法	
特定化学物質障害予防規則	該当しない。
危険性物質	該当しない。
有機溶剤中毒予防規則	該当しない。
名称表示・通知対象物質	ヒドロキノン
毒物及び劇物取締法	該当しない。
消防法	該当しない。
化審法	優先評価化学物質：ヒドロキノン
水質汚濁防止法	
有害物質	該当しない。
指定物質	フェノール類及びその塩類（ヒドロキノン）
船舶安全法	該当しない。
航空法	該当しない。
海洋汚染防止法	有害液体物質（Y類）：臭化ナトリウム 有害液体物質（Y類同程度）：炭酸カリウム 有害液体物質（Z類）：ジエチレングリコール 産業廃棄物（廃アルカリ）
廃棄物処理法	

16. その他の情報

参考文献	製造元ECO3 BV社からのデータ NITE 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)
免責条項	記載内容は、作成時点で入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、記載データの完全性を保証するものではありません。また、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いいたします。